



花の苗を受けた翁島小の児童ら



人権擁護委員から花の苗を受ける猪苗代小の五十嵐鈴さん(右から2人目)と東條さくらさん(同4人目)

花と共に思いやりの心育む 翁島小と猪苗代小で人権の花運動

子どもたちが協力して花を育てることで命の大切さや思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深めることを目的とした「人権の花運動」花の苗贈呈式は6月14日に翁島小学校で、6月15日に猪苗代小学校で行われました。

「人権の花運動」は、昭和57年度から主に小学生を対象として全国で実施されています。

贈呈式では、人権擁護委員の増子恵二さんと長尾幸子さんが「花の苗を育てることで命の尊さを実感し、豊かな心や思いやりの心を養ってほしいです」とあいさつ。両校の児童代表者にマリーゴールドやベゴニアなどの苗約100本を手渡しました。

翁島小学校5年生の高橋知己さんは「花を大切にすることを友達に対しても持ちます」と翁島小児童を代表してあいさつ。猪苗代小学校6年生の長谷川楓さんは「私たち環境委員会が中心となって水やりなどの世話をし、花の苗を大切に育てます」とお礼の言葉を述べました。

猪苗代湖の3浜を清掃 緑小学校

緑小学校の全校児童61人は6月14日、猪苗代湖畔の清掃ボランティア活動を行いました。児童らは3班に分かれ、上戸浜、志田浜、天神浜の3浜でゴミ拾いを行いました。清掃活動には、国立磐梯青少年交流の家の職員らが協力。児童と一緒にゴミ拾いや分別作業を行いました。6年生の小檜山詩音さんは「最初はゴミがたくさん落ちていましたが、みんなで協力して浜をきれいにすることができました」と感想を話しました。



上戸浜のゴミを拾い集める児童ら



カボチャの苗を植える園児

園児が農業体験に挑戦 さくらこども園

さくらこども園のさくら組(5歳児)とうめ組(4歳児)の園児は6月7日、同園の畑で野菜の苗植えなどを体験しました。園児は、J A あいづ青年連盟猪苗代地区のメンバーたちに植え方を教わりながら、スイカやカボチャ、ミニトマトなどの苗を丁寧に植えました。

さくら組の瀧口聖大くんは「スイカは大好きです。大きく育ったスイカをみんなで食べるのが楽しみです」と話しました。



大好きなパパとママと一緒にハイ、チーズ

外遊びが大好きな瑛喜くん。「今年の夏は、一緒に水遊びを楽しみたいです」とパパとママは笑顔で話します。

山本 瑛喜 くん

平成28年1月生まれ

～五十軒

晃史さん・えりかさんご夫妻の長男

納豆ご飯が大好きな瑛喜くん。近頃はシャイベット状のアイスもお気に入りです。少しずつ言葉覚え始め、「パパ、ママ」と話せるようになってきました。

天気の良い日は外で遊ぶのが大好きな瑛喜くん。「花や虫にとっても興味があるようです。散歩をしているときに昆虫などを見つけると、指をさして教えてくれるんです」とママのえりかさんは笑顔で話します。

地元野球チームに所属する晃史さんは「大きくなったらキャッチボールをしたり、一緒にいろいろなスポーツをしたりしたいですね」と話します。

「思いやりの気持ちを大切にできる、優しい人になってほしいです」とえりかさんは優しい笑顔で瑛喜くんを見つめながら話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

学びいな 企画展



来館者に作品を紹介する藤澤さん(右)



20点の作品が展示された切り絵展

町図書歴史情報館 開館3周年記念 「藤澤忠切り絵展」 「モノトーンの世界」

町図書歴史情報館開館3周年記念「藤澤忠切り絵展」モノトーンの世界」は6月6日から18日まで、和みいなで開かれました。

藤澤忠さんは会津若松市在住。和みいなホールには、藤澤さんの切り絵作品20点が展示されました。

冬、会津の人々が目にするのは野も山も雪一色に染められたモノトーンの世界。藤澤さんは、雪深い会津の風景や人々の暮らしなどを切り絵により感性豊かに表現しています。また、藤澤さんはドイツやフランスなどの海外の美術展にも多数出品しているほか、切り絵教室を開催するなど積極的に活動しています。

藤澤さんは「長年切り絵教室を開催してきた猪苗代で展示会を開くことができ、うれしいです。会津の風景や古民家、海外の名所が、普段とは違って見えるところも楽しんでいます」と話しました。